一然がいっぱいで畑がある 清瀬を好きになってほしい

増田牧場・増田徳子さん

ちに家族で酪農を営む大学の友人と結婚する

ことになり、牛と関わることになりました。

合わず、その後、

農協にも勤務しました。の

社の研究所に勤務。室内での仕事は自分には し、特に養豚を学びました。卒業後、製薬会 のようなこともあり、大学でも肉用畜を専攻 どもの頃から動物に囲まれて育ちました。そ

▶酪農を仕事に選んだきっかけ

父が猟犬のブリーダーをしていたので、子

でも最も多くの牛を飼われている増田牧場の 清瀬には6軒の酪農農家があります。その中

増田さんに、お話を伺いました。 ましが、抵抗は全くありませんでした。 農家の嫁になるという事に周りの反対もあり

一酪農の仕事

内という鮮度の良さが自慢の「東京牛乳」と ますが、都市酪農はほぼ100%輸入のエサ ます。幸い我が家には飼料を育てる畑があり エサを作り、栄養や、健康管理を工夫してい る飼料用のトウモロコシを育て、発酵させて いう製品になっています。また、畑で餌にな のが市場に出回ります。産地も製造工場も都 工場に持って行き、殺菌、パック詰めしたも ます。搾乳は一日2回。夜中に集乳車が来て 掃除のあと、えさやり、そして、搾乳をし 朝は牛舎の掃除から始まります。

昨年も賞をいただきました。 とができる「美牛コンテスト」にも出しており たくさん子どもを産めて、良い乳を出すこ を使っています。

がかりです。それでも、何かあると家族みん

産があったり、病気になったりすることが気 相手なので、365日、気が抜けません。お

牧場には40頭以上の牛がいます。 生き物が

仕事の面で大変なこと

★インタビューを終えて★ 近くで見ると、牛は大きな体で とても人懐こく、 がかわいかったです。その牛たち を世話する増田さんも、はつ た女性でした。こんなに 場があり、おいしい牛乳 -などの加工品ができ が驚きでした。見学も声を てもらえれば、可能だそうで 子ども達と出かけたいと思い

なっています。 学生の職場体験も受け入れ おいしいという声を直接聞くことが、喜びと ています。そのような時に、 に来たりします。また、中 小学生が町探検やスケッチ ファーム」となっています。 ●仕事から得られる喜び)清瀬の方々に伝えたいこと 増田牧場は「酪農教育

好きになってほしいと思います。 含めた清瀬の自然がいっぱいの、 新鮮でおいしいものができるのです。牧場も 牧場の周りからは、においの苦情や、汚いと 魚も切り身が海を泳いでいるわけでないよう いう声もありますが、苦労があるからこそ、 に、肉も初めからパック詰めではありません。 私たちは、命をいただいて生きています。 この環境を

東京牛乳を使って作ら れた製品と啓発グッズ

両立することができました。

ているかもしれませんが、義母の配慮もあり ました。農家の嫁は大変ではないかと思われ なで、どんなことも話し合って仕事をしてき

一世代前とは違うやり方で、子育てと仕事を